

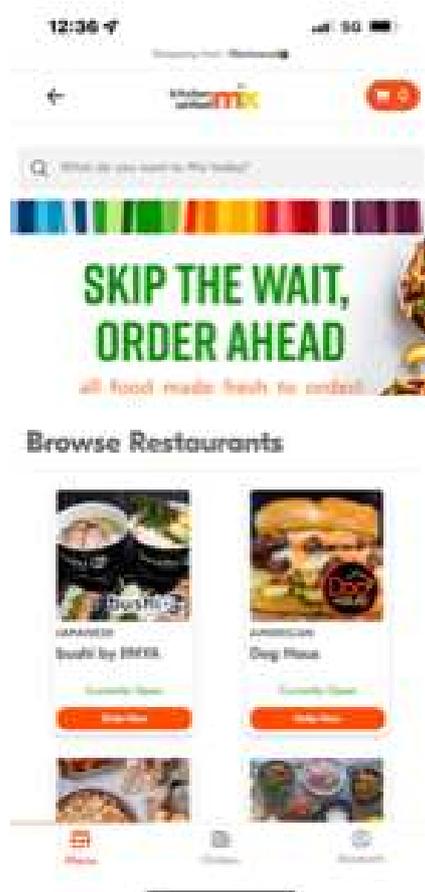
五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート

2022年9月25日

Real tour has finally started!

再開したリアル米国研修ツアー！

2年半年ぶりにリアルな米国西海岸視察ツアーが再開致しました！
一番先に向かったのは、Kroger スーパーマーケットチェーンがカリフォルニア州南部でスタートしている同系列店舗 Ralphs 内 Ghost Kitchen の Kitchen United でした。



ロスアンゼルス空港を出発する際、私のスマートフォンのアプリをお見せしながら注文操作方法を説明し、参加者は現地でタブレットを使用し、ランチを注文しました。

全米で約 500 店舗を展開し、商品の 9 割を占めるユニークな自社ブランドが大人気の Trader Joes UCLA にて視察とショッピングを終え、ホテルへと向かいました。



翌日は Amazon が直営で展開するスーパーマーケット Amazon Fresh Grocery



と Whole Foods の最新店舗と地元のグルメ & オーガニックストアで昼食の後には Amazon Style で DX 体験をしながらショッピングし、最後は Walmart Supercenter の繁盛店を満喫して頂きました。



翌日の朝にはサンフランシスコへと移動し、収穫期に差し掛かり熟したブドウの香り漂うナパバレーのワイナリーにて、テイスティングとワイナリー経営のお話を聞きました。



翌日は Meta Store にて話題の Metaverse Retail 体験を行った後、



Whole Foods でランチ、サンフランシスコのダウンタウン中心でひととき目立つ Salesforce 社のタワーの最上階より Bay Area の海に囲まれた美しい San Francisco の町を一望し、レクチャーを受けました。



翌日から2日間シリコンバレーを中心に視察致し、最終日にはシリコンバレーの聖地 Cupertino の Trader Joes へショッピングで立ち寄りました。



Trader Joes といえば、各店舗でローカルアーティストを雇って店内のアートデザインやポップを製作し、店舗毎に周辺の歴史や名物を表現しているのが特徴です。

Cupertino 店のアートは写真のような大航海時代のトレジャーマップがとても興味深く、地図も正確に描かれておりましたが Apple 本社の場所は、虫食いリングとなっておりました。

これは、故スティーブ・ジョブ氏がマッキントッシュ開発時に発した名言”Why join the navy if you can be a pirate?(海賊になれるのに、なぜ海軍なんぞに入るんだ?)“を彷彿とさせます。

マッキントッシュに用いたオリジナルの技術はゼロックスのものであり、ジョブ氏はまるで海賊のようにそれを略奪したというエピソードは有名です。

ジョブ氏が略奪した手法をさらに進化させ開発したマッキントッシュによりシリコンバレーの IT 開発の潮流を変えたと言われています。

そこにもう一人の海賊であるゲイツ氏が現れて Window が開発され圧倒的な使いやすさと販促拡大で IT が一般消費者のものとなり、シリコンバレーが宝の山となりました。

さすがシリコンバレーの中心に立つ Trader Joes! 奥が深いです。



今回は店舗を見るだけでなく、デジタルを用いて様々な体験をして頂きました。

そして一人も感染者を出さず、参加者 20 名全員が元気にご帰国されたのが何より嬉しい事でした。

現在の米国の流通視察は目に見える箇所だけではなく、目には見えにくく実際に体験してみないとわからないデジタル・ショッピングが増えています。

日本の水際対策もさらに緩和されるとあり、今後は是非多くの皆様にもリアルな体験をして頂ける事を願っております。